

まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目 7 番 9 号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/> (Homepage)

<http://www.facebook.com/madoca1643/> (Facebook)

令和 4 年 6 月 1 日

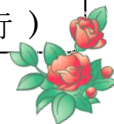
第 6 7 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(2 月・5 月・8 月・11 月 発行)



～ 千載一遇、新しい作業所が出来た！！ ～

理事長 神谷 和孝

「まどか通信」にすみれ工房新社屋建築の進行状況について、利用者や家族、関係者の方々に知っていただくため、数号、理事長の巻頭言を掲載出来ずにいました。久方振りの巻頭言ですが、矢張り「すみれ工房」の新築に関わる事を書かせていただきます。

私が、「まどか」にかかわってから十数年経過しましたが、その時から「まどか」に顔を出す都度、せまい空間で肩をふれ合いながら作業をしている利用者の方々を見るにつけ、利用者の皆さんが一日でも早く、明るくて広い空間の中でユッタリとした気持ちで作業に取り組める場を提供出来たらと思っていました。

この願望は私だけでなく、理事、評議員、職員、利用者の皆さん共通の願いでもありました。作業所に向くような良い物件があると聞けば何度足を運んだでしょうか、この皆の願望が天に届いたのか、一昨年にこれまでの場所のすぐ近くに土地が見つかり、更に困難と思われた競輪補助事業（公益財団法人 J K A）による補助を受けることができ、長い間願っていた施設が令和四年二月に完成しました。そして、三月一日から新しい施設での作業を開始することが出来ました。

皆さんの思いのこもった新しい施設を今後どのように発展させていくのが良いか、夢を抱いて考え、その実現に努力していきませう。

※ 編集の都合上、一月遅れでの発行となっております。ご了承ください。



新年度になって2か月、すみれ工房も新社屋へ移転して3か月が過ぎ、利用者さんも職員も新しい環境によりやく慣れてきたような様子です。

紙面でも紹介していますが、すみれ工房では今年度から新たに『就労定着支援事業』を始めています。まだまだ、事業の内容自体を知らない方も多いと思いますが、『働き続ける』をサポートする事業です。軽いフットワークで説明にも伺いますので、興味のある方は、ぜひお問い合わせください♪



希望者のみの参加となりましたが
感染対策を万全にして、お花見へ行きました。

福山城公園を散策するだけでしたが
満開の桜はとてもキレイでした★



お花見弁当を熱望する声も多く・・・
来年の桜はお弁当を片手に観たいですね！



贈呈式

法人設立から現在まで支援をしていただいている「福山市精神保健福祉家族会(バウ会)」の皆様から新しい施設をきれいに使い続けられるように、と各階用の掃除機を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。
本当にありがとうございました。

この度、すみれ工房の新社屋竣工に際して大変多くの方々からお祝いを頂戴しました。巻末の善意のページにてご紹介させていただいております。



令和4年4月から
新しく事業を始めています

就労定着支援事業所 すみれ工房

2018年（平成30年）4月から、新たに創設された障害福祉サービスです。福山市内には事業所数も少ないため、まだまだ知られていないサービスですが、『働く人を応援する』とっても心強い福祉サービスなんですよ。



就労定着支援事業ってどんなサービスなの？

働きはじめたことで変わった日常の生活環境や職場での課題など職場や家族、医療機関や福祉施設などと連携してサポートすることで障がいのある方が雇用された企業で就労を継続できるようになることを目的とした、働きはじめた障がいのある方を応援するサービスです。



誰が利用できるの？

基本的には、「就労移行支援」「就労継続支援」「自立訓練」「生活介護」などの利用を経て、一般就労へ移行した障がいのある方です。就職した6か月後から、3年間利用することができますよ。



利用料はかかるの？

0円～9,300円～37,200円と、前年度の世帯所得や住んでいる自治体などによっても負担の上限額が変わります。現在利用されている福祉サービス事業所か、私たちにご相談ください。



もっと詳しく聞きたいです！

利用を考えている方、支援事業所の方、どんなことでも大丈夫です！
084-928-1643（すみれ工房）まで ご連絡ください！！
（営業時間：火曜日～土曜日 9時～17時、祝日を除く）



就労定着支援員の紹介

井口淳一郎

本年1月より定着支援担当としてお世話になっております。
生まれは京都市内の新撰組駐屯地の近くですが、私はあまり京都が好きではなく、28歳の時に大阪の梅田の近くに住むようになりました。どこで生まれようが、大阪に長く住めば大阪人であるという大阪気質が好ましく、感覚的には大阪人であると思っています。現在は福山市内に独居しており飲み・テニス仲間募集中です。今後ともよろしくお願い致します。





新年度を迎え新たな体制にもなり、爽やかな気持ちで利用者の支援を行って居ります。

今回は、「地域活動支援センター事業」と合わせて行っております「くらしの相談窓口」(福山市地域福祉貢献活動協議会)について説明させていただきます。

【地域福祉貢献活動協議会について】

2016年(平成28年)の社会福祉法の改正により、社会福祉法人の「地域における公的な取組」が、社会福祉法人の責務として位置づけられました。(社会福祉法第24条・第2項)この法改正では、福祉施設・事業所を運営する社会福祉法人が相互に連携・協働して、公的サービスにつながらなかったり、既存の仕組みでは解決が難しい福祉ニーズに対して積極的な支援活動を行うことが求められています。

そこで、福山市では市内の社会福祉法人が「地域における公益的な取組」を進めるため2017年(平成29年)6月19日に41法人の参画を得て福山市地域福祉活動貢献協議会を設立し、現在は、68法人の参画をいただいています。具体の事業としては、2018年(平成30年)11月1日から「くらしの相談窓口」を開設し、当初89カ所であった窓口も現在は94カ所となり、身近な相談窓口として取り組みをすすめています。

当法人の窓口は「とまり木 長谷川」です
気軽にご相談ください

TEL、FAX：084-944-7557

Email: tomarigi7557@nifty.com



新規職員紹介

鶏内 梨恵 (かいち りえ)

趣味 断捨離

特技 無になること

好きなもの 猫、ヤモリ、ババロア

嫌いなもの 先入観、湿気、害虫、
うるさい車やバイク

4月1日より、とまり木で働くことになりました。

人見知り新しい環境に慣れるまで時間がかかってしまうとは思いますが温かく見守って頂けると幸いです。

よろしくお願いいたします。

遊びにきてください!!

福山市精神障害者家族会（バラ会）

会長 きたむら 北村 たまき 環

《2022 年度バラ会総会》

4 月 30 日（日）に 2022 年度バラ会総会を開催し、来賓として福山市から石川健康推進課長、まどか から神谷理事長、高橋すみれ工房管理者、長谷川とまり木施設長に来ていただき、激励の言葉をいただきました。ありがとうございました。

私が新しい会長に就任して 4 年目になりますが、これまで日本の社会全体が積み重ねてきた努力によって、その成果が少しずつ現れてきているように思います。

1 つは、最近バラ会に参加する人が増えてきています。3 年前には 29 人であった会員数が、次年度は 37 名、次は 43 名と、毎年少しずつ増えています。精神障害者が増えていることでもあります、障害者の問題について積極的に考え、家族どうしの強い支え合いを築いていこうとする家族の気持ちの表れです。

2 つ目は、日本の医学も、外国の医療や考え方に積極的に学び、「早期発見と治療」に積極的に取り組み、その成果も表れてきています。以前は専門病院での入院治療が中心でしたが、現在では通院による治療が主になっています。そして、地域における受け入れも進み、支援プログラムもできてきています。

3 つ目は、社会の変化です。障害者に対する理解が進み、障害者に対する差別や偏見も少しずつ減ってきています。まだ十分ではありません。そのためには「こころの病（精神疾患）」には誰でもががかかる可能性があるという事実の認識、障害者の気持ちへの配慮や理解がすすみ、誰でもが平和で安心して暮らせる社会をつくっていくことが大切です。

《40 年ぶり教科書に》

今年度から、高校の保健体育の教科書に 40 年ぶりに「こころの病（精神疾患）」についての記述が復活しました。それは 8 ページにもあてられています。若者たちの自殺が社会問題になるなか、「こころの病」について、教員や生徒たちが正しく理解をし、それを正しく受け止めることができる取り組みが始まります。

「精神疾患の予防と回復」「精神疾患は現代的な健康課題。授業で学ぶことで早期発見や回復につながる」と、そのねらいを担当するスポーツ庁は考えています。

《新しいバラ会事務所が「まどか（とまり木）」内にできました》

住 所： 〒720-0032 広島県福山市三吉町南一丁目 13-26

TEL： 084-925-5255

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。

また、「すみれ工房」の新社屋竣工に際して、多数の方々よりご厚志を頂戴いたしました。併せて掲載させていただいております。誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

☆ 法人まどかへの善意

- ・岡田美枝・田中けい子・植山雅子・福山市精神保健福祉家族会（バラ会）会長 北村環
- ・福山市精神保健福祉家族会（バラ会）・高橋春子・高橋恵子・宇田早苗
- ・社会福祉法人虹の会 理事長 藤原博文・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」
- ・平和建設株式会社・藤井康夫建築設計事務所

「すみれ工房」竣工に際して匿名でのご厚志を多数頂戴しております。重ねてお礼申し上げます。

☆ 法人まどかへのボランティア

- ・國貞将志・村田紀美子

☆ 福山市精神障害者家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和4年6月以降、令和4年7月まで）

各種行事については、市内の感染状況等を踏まえ
感染対策を十分に行う中での実施をしていきます。

編集後記

今回、編集の都合で一か月遅れでの発行となりました。次号は通常通り8月の発行を予定しています。色々な行事、イベントが感染対策をしながら徐々に開催されているのを聞くと、ちょっとずつ以前の生活が戻ってきているような気分になってきます。そうしていると、バーベキューをしたいという声がチラホラと聞こえてきていて。。。う～ん、会食はどうなんだろう？でも、楽しみたい！と頭を抱え悩む今日この頃です。（すみれ工房 管理者 高橋恒二郎）

Facebook



HomePage

